

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年5月23日 (2013.5.23)

【公開番号】特開2009-273893(P2009-273893A)
 【公開日】平成21年11月26日 (2009.11.26)
 【年通号数】公開・登録公報2009-047
 【出願番号】特願2009-119052(P2009-119052)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 Z

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】
 【提出日】平成25年3月27日 (2013.3.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

生体内における撮像デバイスの移動を制御する方法であって、
磁性部品を有する生体内撮像デバイスを準備することであって、前記生体内撮像デバイス内又は前記生体内撮像デバイス上の前記磁性部品の位置が前記生体内撮像デバイスの質量中心と一致しない、前記生体内撮像デバイスを準備すること、
前記生体内撮像デバイスが患者の体内にある場合に、前記患者の外側に回転磁場を設けて前記生体内撮像デバイスの位置及び配向を変更して前記生体内撮像デバイスを前記質量中心を中心として回転させて、回転運動によって前記患者の体内の所望の方向において前記生体内撮像デバイスを進行させることを備える、方法。

【請求項 2】
 前記回転磁場のパラメータを制御することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
 前記生体内撮像デバイスからの入力に基づいて前記回転磁場のパラメータを制御することを備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】
生体内撮像デバイスであって、
磁性部品を有する撮像デバイスであって、前記撮像デバイス内又は前記撮像デバイス上の前記磁性部品の位置が前記撮像デバイスの質量中心と不一致であり、前記撮像デバイスは、患者の体内に挿入される、前記撮像デバイスと、
前記患者の外側に回転磁場を生成する磁場発生器とを備え、
前記磁場発生器には、
前記撮像デバイスの位置及び配向を変更して前記生体内撮像デバイスを前記質量中心を中心として回転させて、回転移動によって前記患者の体内のほぼ所望の方向において前記撮像デバイスを進行させる制御手段が設けられている、生体内撮像デバイス。

【請求項 5】
前記制御手段は、

コンピュータと結合された位置制御ユニットを含む、請求項 4 に記載の生体内撮像デバイス。

【請求項 6】

前記位置制御ユニットは、前記回転磁場のパラメータを制御するように動作可能である、請求項 5 に記載の生体内撮像デバイス。

【請求項 7】

前記コンピュータは、前記撮像デバイスから入力信号を受信するように構成され、前記位置制御ユニットは、前記撮像デバイスからの入力信号に基づいて前記回転磁場のパラメータを制御するように動作可能である、請求項 6 に記載の生体内撮像デバイス。